

岩永ひさかは
これまでも、これからも
信頼できる議会づくり
にこだわります！



発信が大切。
「知らせる」「伝える」
にこだわります！



足を運び、耳を傾ける。
現場からの
「知る」「学ぶ」
「応える」にこだわります！



今と未来に向き合う政治をともに！ HISA KA'S Style



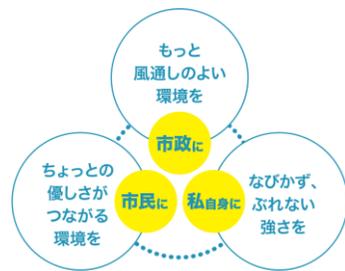
公平公正な姿勢！
市民全体に向けた活動を心がけ、
個人後援会は作りません。



政策づくりが議員の仕事！
議員としての専門性を磨き、
市民の自治力の向上をバックアップします。



話し合いが大切！
意見の違いは粘り強く議論をつづけることで、
「第3の道」を見つける努力をします。



- 1977年 兵庫県神戸市生まれ／4歳から3年間は札幌に暮らす
- 1985年 多摩市諏訪（当時は連光寺）に転入
- 1989年 北諏訪小学校卒業
- 1992年 桐朋女子中学校卒業
- 1995年 桐朋女子高等学校（普通科）卒業
- 1999年 中央大学法学部政治学科卒業
- 大学卒業後2002年まで中小企業金融公庫（今の日本政策金融公庫）勤務。
- 2002年4月 多摩市議会議員補欠選挙にて25歳で当選して活動開始。
- 2004年 明治大学公共政策大学院がパナンス研究科入学
- 2006年 公共政策学修士（同大学院修了）
- 2017年 多摩市議会第31代議長就任
- 2019年現在 議員歴5期17年目 子ども教育常任委員会所属 諏訪2丁目在住

HISA KA'S Profile

市議会レポートほうれんそう 岩永ひさかへのご相談は…

ご用件と希望する連絡先を留守番電話へ！必ず折り返します。

TEL 042-371-0763 留守番電話専用

市議会レポート

岩永ひさかのほうれんそう

文章: 岩永ひさか(多摩市議会議員/所属党派: 改革みらい)
多摩市諏訪2-2 B410 プリリア多摩ニュータウン
TEL/FAX 042-371-0763

ブログ更新中!!
ご意見も随時
募集しております!

<http://www.iwanaga-hisaka.net/>



■ 3月を迎えました。3月3日は女の子の節句‘おひなまつ’ですが、もうひとつ…
「耳の日」でもあります。

出席率80%をクリアしなければ、修了できない「手話講習会初級講座」。ようやく終講にたどりつけそう。でも、まだまだ、会話をスムーズにできるまでには至っていません。でも、手話で‘あいさつ’をして、簡単な自己紹介をすることはできるかな。

せっかく学んだ手話が、「いざ」というときに役立つように…そのために少しずつレッスンを受けていこうと思います。何事もきっと…「継続は力」。

■ 議長になると一般質問ができない。法令上のルールではなく、あくまでも慣例。ここを突破することができなかったのは、最大の心残りかもしれない。平成は31年で幕が閉じることにありますが、私は多摩市議会では31代目の議長。「31」どうしたと、勝手につながりを感じて感慨深い今日この頃。

平成31年3月吉日

岩永ひさか

みんなで
ACTION!!

進んでいます！洋式化！



生活様式も変化している、なおかつ…学校は災害時の避難所になることを考えれば、特に高齢者、身体に不自由を抱えるみなさんのことを考えてもトイレは和式ではなくて洋式化と主張してきました！市議会としても、「学校トイレの洋式化」の必要性は誰もが認めるどころ。

ようやく、「学校トイレ洋式化」に向け、着々と環境整備が進む予定です。

岩永ひさかは
学校トイレの洋式化を
推進する地方議員
ネットワークに賛同
しています！

Change!



子どもたちにも「市議会」をもっと身近に！ 夏の「子ども市議会探検」、瓜生小学校の社会科見学を通じて

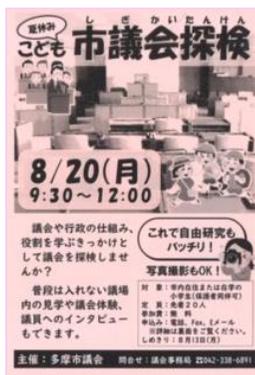
■市民の声を活かした議会の実践！
私たち多摩市議会では議会活性化のため、毎年2回、概ね春と秋に「市議会報告会」あるいは「市民との意見交換会」を開催しています。そして、参加くださった市民のみなさんのご意見を重く受け止め、私たちは、**厳しさ増す多摩市の未来に備えた政策づくり**に活かさないかと奮闘しています。

昨年4月に開催した会では「選挙権年齢が引き下げられたけれど、若い人たちの関心がなかなか高まっていない。**市議会が、もっともつと主権者教育に取り組んでいくべき**」との強いご意見をいただきました。「心強い貴重なご意見！」実は、市議会としても「主権者教育」にどう関われるかは最大の関心事でした。

しかし、市内各小中学校での出前授業などについては、「**政治イデオロギーを学校に持ち込まれる可能性**」を気にする市教育委員会の壁に阻まれ、なかなか実現できずにいたのが実情でした。

みんな
で
ACTION!!

議員がデザインしたチラシ。市教育委員会も学校の授業で強制参加するのではなく、**希望者を募る方式**であればOKとチラシ配布は許可してくれました！→



とは言え、せっかくの市民の声をカタチにすべく・・・考え出したのが「**子ども市議会探検**」。他市議会の実践に学び、私たちもチャレンジ！小学生を対象にし、「夏休みの自由研究にも！」という謳い文句で参加者を募集。30人を超える親子の参加者で大盛況となり、参加者からも「**市議会のことが身近になった**。」「とてもいい取組みだと感じた。」「勉強になった。」「と好評でした。(詳細は「たま市議会だより」No.219 平成30年(2018年)11月5日号)

■市議会のパワーアップにもつながる

この取組みを通じ、子どもだけでなく大人(=保護者)にも「市議会を知るきっかけづくり」ができたことは大きな収穫でしたが、それ以上に私が手応えとして感じたのは、「**子どもにとってのわかりやすい**」=「**誰にとってもわかりやすい**」=「**市民への広がり**」につながっていくことでした。

子ども向けに作成した市議会を解説した動画、スライド、ワークシートなどは「多摩市議会のオリジナル」であり、ぜひ、教材としてももっと内容も充実させていきたいと思っていますが、これらは全て、**私たち議員が知恵を絞って作成をしたもの**になっています。



「市議会が市役所の4階にあったことを知らなかった！」という素朴な声に、私たちはハッとさせられるのです。

■新たなチャレンジ！単なる議場見学だけではない社会科学習を！

さて、「夏休みこども市議会探検」は今後も継続していきたい取組みと考えていたところに、瓜生小学校6年生の先生方から「**社会科見学をしたい**」とのお話をいただき、それならば・・・と今度は、**議場見学のみならず、「学習の機会」を提供できる市議会にしよう!**との目標を掲げ、2月5日の午前中に「瓜生小子ども市議会」を開催しました。

実は、とても急な話で、年明けからの準備でしたが、まずはベストを尽くす！ということで、学校の先生との打ち合わせを重ね、できるだけ学校側のニーズに応えた内容にと努力を重ねました。1月23日には議長、副議長と企画担当をしている議員とともに瓜生小学校の朝の時間に訪問。「事前学習会」を開催。また、「**本物の議会**」をより良く体験してもらうために「**招集通知**」を手渡し、架空の議案「**児童センターに1000円の利用料金を設定する**」について事前に話し合いをもらい、当日に臨んでもらうことになりました。



みんな
で
ACTION!!

←瓜生小事前学習。
左から飯島議員、三階副議長、大隈議員、本間議員。
私は、途中から撮影係がいなくて気がついて、途中から動画撮影をしていました。

社会科見学当日は、副議長が市長役、議員は子どもたちからの質疑に答弁をする部長役になってもらい、本番さながらの議事進行。最後にはお楽しみの自由質問の時間も設けました。**議員の素顔に触れるような子どもたちからの鋭い質問**に答える議員側が冷や汗をかくような場面も。楽しい雰囲気の中に終了できましたが、子どもたちの好反応に「**やってよかった!**」という気持ちになりました。(詳細は5月発行予定の次号「たま市議会だより」をお楽しみに!)

みんな
で
ACTION!!
当日の様子。
瓜生小子ども
市議会を開催
しました!→



■次の取組みへとつなげたい!

「**市議会に関心を持ってもらいたい**」というのは**市議会議員全員共通の思い**。瓜生小学校の社会科見学の受入れで、さらに私たちは「**子どもたちの主権者教育の場**」になれる**多摩市議会の可能性**に手応えを覚えています。今回の実践が、市内小学校に広がることを期待しています。

私たち大人よりも「**より長く「未来を生きる子どもたちのため!**」を胸に、私は、これからも市議会での奮闘を続けていきたいです。